



発行
〒716-0004 高梁市内山下38
岡山県立高梁高等学校
同窓会事務局
TEL 0866-22-3047
印刷所
ノイン株式会社



ご挨拶 会長 近藤 隆則

私が、この高梁高校を巣立つてから早や五十年の歳月が流れようとしています。当時の学び舎の風景や友人たちとの語らいは、今もなお昨日のことのように思い出され、時の流れの速さに驚かされるばかりです。

このたび、昨年夏の総会におきまして同窓会会長をお引き受けすることとなりました。本会の発展

に長年ご尽力いただきました樋口前会長の後をお引き受けするにあたり、私に務まるだろうかと思ひもいたしました。しかし、多くの皆さまのお力をいただきながら、同窓会をさらに盛り上げていけるよう全力を尽くしてまいります。歴史ある同窓会の伝統を大切にしながら、皆さまとご縁をより深めてまいりたいと考えております。

母校で過ごした日々は、今でも折に触れて思い出されます。友人たちとの何気ない日常のひとコマが、年月を経ても心の中で温かく息づいています。そうした思い出を共有できることが同窓会の大きな魅力であり、世代を超えてつながる大切な場であることを改めて感じています。

さて、母校にはこの度新しく澤頭義校長先生が着任されました。澤校長先生は、備北地区の学校勤務は初めてのことですが、家政科のある学校に勤められることを大変喜んでおられます。新しい体制のもと、地域連携のさらなる活

性化や、ICTを活用した教育環境の充実にも力を入れていただけるものと期待しております。

同窓会はこの四月、新たに百四十名の方々をお迎えしました。歴代の卒業生は総数で二万六千人に届こうとしていますが、これまでも同窓会だよりなどを通じて情報をお伝えしてまいりましたが、今後は電子媒体の活用も少しずつ進めてまいります。より迅速で身近な形で情報をお届けできるよう工夫しながら、これまで以上に多くの方に気軽に参加していただける同窓会を築いてまいりたいと考えております。

また、会員の皆さまに是非お伝えしておきたいことがあります。それは、母校の存続に向けた取り組みについてです。学校では特色ある教育活動を進めながら、毎年生徒募集に力を入れています。その中で、今後特に大きな役割を担うと期待されているのが寮の活用です。寮があることで生徒の募集

範囲が広がり、この春からは県の措置により土日、祝日の在寮も可能となりました。ただ、そのためには金曜日の夕方から月曜日の朝まで、民間の方々には寮監をお願いする必要があります。現在は何とか人員を確保できていますが、今後さらに皆さまのお力添えをお願いする場面も出てくるかと思ひます。その際には、どうぞよろしくお願いいたします。

本年度も総会や各種行事を予定しております。久しぶりの再会や新たな出会いの機会として、ぜひお気軽にご参加ください。参加申し込みは下段にある二次元コードから行っていただけます。また、東京支部・関西支部それぞれの総会にも、ぜひ多くの皆さまにご参加いただければ幸いです。

結びに、皆さまのご健勝とますますのご活躍をお祈りいたします。今後とも、同窓会活動への変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

お知らせ

同窓会総会のご案内

令和8年度の同窓会定期総会を次のとおり開催します。万障お繰り合わせの上、是非ともご出席いただきますようにご案内申し上げます。

なお、総会後、懇親会を開きます。今年度の懇親会は、次の当番幹事学年の方を中心に催されます。こちらへのご出席もよろしくお願ひします。

高31回卒(昭和55年卒)
高41回卒(平成2年卒)
高51回卒(平成12年卒)
高61回卒(平成22年卒)
高71回卒(令和2年卒)

記

日時 令和8年8月14日(金)
午前11時から
場所 高梁国際ホテル
高梁市正宗町2033
TEL 0866-21-0080
会費 7,000円
卒業後4年以内の同窓生は無料とします

支部総会のご案内

△東京支部総会△
令和8年10月24日(土) 12時
東京都千代田区平河町2-4-3
ホテル ルポール麹町

△関西支部総会△
令和8年11月15日(日) 12時
大阪市淀川区西中島5-14-10
ニューオーサカホテル

同窓会新役員

会長 近藤隆則(高28回卒)
副会長 岡田誠治(高24回卒)
小田幸伸(高25回卒)
松本圭司(高27回卒)
三上武則(高29回卒)
蟻正教子(高30回卒)
前嶋英輝(高31回卒)
藤森元子(高37回卒)
片岡康平(高18回卒)
竹井 淳(高23回卒)
菅田吉昭(高39回卒)

男子ソフトボール部 全国大会出場



第60回全日本高等学校総合体育大会ソフトボール競技(インターハイ)
第44回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会

男子ソフトボール部は昨年からお互いの部員数不足のため、新見高校と合同チームを組んでいます。令和7年の夏には栄えある地元岡山県でのインターハイに岡山県代表として出場しました。開会式では本校の大橋一心主将が全チームを代表して力強い選手宣誓を行いました。優勝した大村工業高校には負けたものの部員不足の逆境を乗り越えてのベスト16といった結果を残すことができました。令和8年度の大坂インターハイにも2年連続で出場を決めています。応援よろしくお願ひします。

臥牛山の木々も夏の日差しを受けて一層緑を深め、高梁川の川面を渡る風が涼やかなひとときを運んでくる季節になりました。同窓生の皆さまには、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。また日頃から、同窓会の諸活動や本校の教育に對しまして暖かいご支援とご協力を賜り、教職員一同、心より御礼申し上げます。

私、このたびの異動により鳥越信行前校長の後任として、倉敷古城池高等学校から着任しました澤頭義でございます。創立146年の歴史と伝統を有する高梁高等学校に勤務させていただくことを大変光栄に存じております。前任校では教頭として、地域と連携した教育活動やICT活用による業務の効率化に取り組んでまいりました。これまででの経験を生かし、微力ではございますが、生徒一人ひとりの幸せな未来の創造と、本校



着任のご挨拶

校長 澤 頭義

高梁市における高校魅力化プロジェクトの取組みについてご説明をいただきました。県立学校でありながら、市から全面的な支援を受けられることに心強さを感じると同時に、人口減少が進む中でも学園都市としての誇りを持ち続ける高梁市の強い思いを感じ取ることができました。

本校と高梁城南高等学校の生徒12名が所属し、地域課題の解決策を提案することとなりました。令和8年1月30日には、市役所内で成果発表会が行われ、「修学旅行を高梁に」、「廃園カフェをつくる」という内容で生徒提案について説明がありました。今年度も4月24日に任命式が行わ

れ、本校2年次生が1年をかけて、地域課題に取り組みます。さらに、今年度からは「高梁市高校魅力化コンソーシアム」が設立されることになり、現在、準備会を開いて、市や地域企業との連携、学校間の連携について検討を開始しています。全県募集の本校と、全国募集の高梁城南高校とが、一緒になって生徒募集を市外に出かけていってアピールする、温知寮、泉寮ともに、各部屋のWiFiに接続できている状況を整備するなど、現時点でも様々なアイデアが出てきています。

また、本校では今年度より吉備国際大学の協力を得て、「総合的な探究の時間(方谷学)」において、探究活動のアドバイスをいただいたり、国際交流について事前指導を受けたりする取り組みが始まります。一方で、中学校への出前授業や本校生徒による小学生に向けた学習支援な

とも計画されています。地域とにもある学校として、本校が掲げている「未来を拓く8つ力」―社会で生きる教養力、専門的で高度な技術力、情報を活用する力、論理的・批判的に思考する力、自分の考えを表現する力、対話し協働する力、志高く挑戦する力、自律しやり抜く力―をバランスよく身につけることができる教育活動を推進してまいります。

今後も、備北地区の拠点校として高梁高等学校がさらに進化できるよう、向上進取の精神で魅力ある学校づくりに努めてまいります。引き続き、母校への一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、同窓生の皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

『温知寮・泉寮』リフレッシュプランへのご支援のお願い

高梁高校の生徒募集は、少子化、都市部への人口集中、生徒・保護者の考え方の変化等により、将来的には学校の存続も危ぶまれる厳しい状況が続いています。

そういった中、本校は令和6年度入試から、普通科の学区を全県学区にしました。その結果、旧学区以外からの入学生は、令和6年度16名、令和7年度25名、令和8年度23名で、全体に占める割合が大きくなり、遠隔地からの入学生も増加しています。

温知寮・泉寮は現在、高梁高校と高梁城南高校と共同で利用しており、寮生は1年次16名、2年次24名、3年次12名と、年々増加傾向です。間

目標金額は2,500万円ですが、途半ばです。個人の方の寄附額のうち2,000円を超える部分については、所得税や住民税から全額が控除されるため、寄附者の実質的な

負担は2,000円です。また、企業からの寄附の場合、寄附金の全額を損金算入することができま

お問い合わせてください。TEL 0866-2213047



進路状況

進路課長 安藤 雅仁

近年、急速な社会構造の変化や価値観の多様化、さらにはデジタル化・グローバル化の進展を背景に、大学入試は大きな転換期を迎えております。従来の知識偏重型の選抜から、思考力・判断力・表現力を重視する方向へと移行が進み、年内に実施される総合型・学校推薦型選抜による入学者は、全国的に見ても全体の約5割に迫る水準に達しております。各大学は志望理由書や面接、小論文、さらには探究活動や課外活動の成果を通して、多面的・総合的に評価を行うようになっています。

これらことから、教育現場では生徒一人ひとりの学びの過程や成果を重視する傾向がより一層強くなるとともに、大学においても学びの質を適切に評価するため、筆記試験のみでは測りきれない力を把握できる総合型・学校推薦型選抜を拡充しており、この流れは今後も続いていくと考えられます。

現在、中央教育審議会においては、2032年度より高校へ導入される次期学習指導要領の検討が進められており、その答申では「主体的・対話的で深い学び」の実装、多様性の包摂、持続可

能な教育課程の確立が柱として示されております。特に、探究的な学びの質の向上や情報活用能力の強化が重視され、生徒が自ら問いを立て、他者と協働しながら課題解決に取り組む力の育成が求められております。

的に増加し、国公立大では前年より約10%、私立大では前年より約19%増加しました。こういった影響もあり、高倍率になるケースも多く、本校生徒も昨年度同様に苦戦を強いられました。一般入試においては、共通テストの平均点が昨年度から大きく下がり、従来の力を発揮できなかった生徒もいました。また、中後期試験まで取り組み、最後の最後に合格を掴み取ってくれたことは、教員にとっても大きな喜びとなりました。最終的には普通科109名、家政科31名の令和7年度高梁高校卒業生は、各自の目指すステージに進んでいきました。四年制大学への進学希望者93名のうち国公立大学に54名(過年度生2名含む)の合格者を出すことができました。過年度生1名は難関大学である東北大学に合格しました。高梁高校で得た力をもとに、それぞれの地で新しい仲間と出会い、さらに成長し社会で活躍していくことを心から楽しみにしています。

今後、生成AIをはじめとする技術革新の進展により、社会の在り方は大きく変容しつつあり、大学においても教育・研究の高度化や学びの個別最適化、産業界との連携強化など、新たな価値創出に向けた改革が加速しております。こうした中で求められるのは、知識の蓄積にとどまらず、それを活用し課題を発見・解決する力でありま

主な支部・連絡先

●東京支部

支部長 佐々木 敦則 (第22回卒)

連絡先 前島 克好 (第24回卒)

take-tyo@googlegroups.com

●関西支部

支部長 能勢 広宣 (第32回卒)

連絡先 能勢 広宣 (第32回卒)

SNSフェイスブック・インスタグラム

をご覧ください。

高梁高校の日常をより身近に感じていただけるように、フェイスブック・インスタグラムの運用を行っています。たか高の今、後輩の活躍の様子に加え、同窓会総会等の案内、同窓会支部の活動の様子、同窓生活躍の情報を発信しています。フォローになることでこれらの情報を共有し、高梁高校ファミリーとしてつながることができます。2次元コードは、こちらです。



編集後記

長年にわたり同窓会会長として会の発展にご尽力くださいました樋口前会長に、心より感謝申し上げます。また、本年度より近藤新会長のもと、高梁高校同窓会がますます発展されますことをお祈り申し上げます。

さて現在の高梁高校に目を向けますと、先日の生徒総会で生徒会執行部より「高梁高校の伝統を受け継ぎながら、生徒一人ひとりの意見を大切に、変化を恐れず挑戦していく」と力強い方針が示されました。そのつとて、校内でのスマートフォン使用規定の見直し提案案がなされました。多くの高校が校内使用禁止の中、高梁高校では5年前から生徒会の要望を受け始業前と放課後の使用を認めています。生徒会を中心に生徒に使用ルールやマナーの周知を繰り返し行なった結果、本年は昼休みの使用も許可されることとなりました。生徒自ら考え、提案し、責任を持って行動しようとするタカ高生の姿勢に期待しています。最後になりましたが、本号の作成に協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

令和7年度会務報告

令和7年	6月6日(金)	17・30(個別による監査)
		片岡監査、竹井監査、菅田監査
	18・00(役員会(応接室))	樋口会長他9名
	18・30(幹事会(会議室))	樋口会長他18名
	8月14日(木)	11・00(総会(高梁国際ホテル))
		樋口会長他55名
	12・00(懇親会(高梁国際ホテル))	10月25日(土)
	12・00(東京支部総会)	12・00(東京支部総会)
		(東京都千代田区ルポール麹町)
	11月15日(土)	12・00(関西支部総会)
		(ニューオーサカホテル)
	11月28日(金)	18・00(臨時役員会(応接室))
		近藤会長他8名
令和8年	2月27日(金)	入会式(体育館)
		近藤会長
		新入会者数
		(家政科31名、普通科109名 計140名)

令和7年度 岡山県立高梁高等学校同窓会 一般会計決算書

収入の部					(単位:円)
科	目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
会	費	441,000	427,000	△ 14,000	@1,000円(学年ごとに納入)
総会懇親会費		150,000	210,000	60,000	令和7年度総会
寄付金		800,000	823,297	23,297	同窓会だより発行募金への応募
繰越金		429,659	429,659	0	令和6年度からの繰越金
雑収入		841	2,618	1,777	預金利息、集合写真現像及び郵送代
名簿収入		9,500	0	△ 9,500	名簿売上等
計		1,831,000	1,892,574	61,574	

支出の部					(単位:円)
科	目	予 算 額	支 出 済 額	差 引 残 額	摘 要
会 議	費	450,000	361,723	88,277	総会、役員会 お茶等
旅	費	110,000	164,040	△ 54,040	東京支部総会、関西支部総会
消 耗 品	費	6,000	0	6,000	
通 信	費	610,000	679,947	△ 69,947	同窓会だより発送、役員会案内等
印 刷	費	126,000	153,696	△ 27,696	同窓会だより、寄付チラシ印刷
渉 外	費	3,000	0	3,000	
慶 弔	費	30,000	0	30,000	
記 念 品	料	0	0	0	
雑	費	50,000	47,978	2,022	振込手数料、過年度会費返金
予 備	費	446,000	0	446,000	
計		1,831,000	1,407,384	423,616	

※収入済額(円) 1,892,574 支出総額(円) 1,407,384 次年度への繰越金(円) 485,190

令和8年度 岡山県立高梁高等学校同窓会 一般会計予算書

収入の部					(単位:円)
科	目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	摘要
会	費	434,000	441,000	△ 7,000	@1,000円(学年ごとに納入)
総会懇親会費		150,000	150,000	0	令和8年度総会
寄付金		800,000	800,000	0	同窓会だより発行募金への応募
繰越金		485,190	429,659	55,531	令和7年度からの繰越金
雑収入		310	841	△ 531	預金利息
名簿収入		9,500	9,500	0	名簿売上等
計		1,879,000	1,831,000	48,000	

支出の部					(単位:円)
科	目	予 算 額	前年度予算額	比較増減(△)	摘 要
会 議	費	370,000	450,000	△ 80,000	役員会・総会経費
旅	費	165,000	110,000	55,000	各支部総会
消 耗 品	費	6,000	6,000	0	事務用品
通 信	費	680,000	610,000	70,000	同窓会だより発送作業費、郵便代等
印 刷	費	154,000	126,000	28,000	同窓会だより印刷費
渉 外	費	3,000	3,000	0	
慶 弔	費	30,000	30,000	0	慶弔電報
記 念 品	料	200,000	0	200,000	2年に1度購入
雑	費	50,000	50,000	0	郵便振込手数料、過年度会費返金
予 備	費	221,000	446,000	△ 225,000	
計		1,879,000	1,831,000	48,000	

1. 令和8年3月卒業生進路状況

(普通科・家政科)

種 別		合格者数	進 学 ・ 就 職 者 数		
			普通科	家政科	計
進 学	国 公 立 大 学	52	51	0	51
	私 立 大 学	79	36	6	42
	国公立短期大学	0	0	0	0
	私立短期大学	0	0	0	0
	専修・各種学校	36	18	16	34
	予備校・その他	3	1	2	3
計		170	106	24	130
就 職	一 般 企 業	9	2	7	9
	公 務 員	1	1	0	1
	計	10	3	7	10

高梁市消防局に1名、製造職や事務職など9名、計10名が就職しました。

就職

私立大学・短期大学・専門学校

東北大学1名、岡山大学4名、広島大学1名、鳥取大学2名、鳥根大学5名、山口大学1名、香川大学6名、愛媛大学1名、高知大学5名など、中四国地方を中心に54名が合格しました。

東京理科大学1名、立命館大学2名、龍谷大学4名、近畿大学4名など、難関私立大をはじめ、近畿地方・中四国地方の私立・専門学校に多くの合格者を出しました。

編集後記

長年にわたり同窓会会長として会の発展にご尽力くださいました樋口前会長に、心より感謝申し上げます。また、本年度より近藤新会長のもと、高梁高校同窓会がますます発展されますことをお祈り申し上げます。

さて現在の高梁高校に目を向けますと、先日の生徒総会で生徒会執行部より「高梁高校の伝統を受け継ぎながら、生徒一人ひとりの意見を大切に、変化を恐れず挑戦していく」と力強い方針が示されました。そのつとて、校内でのスマートフォン使用規定の見直し提案案がなされました。多くの高校が校内使用禁止の中、高梁高校では5年前から生徒会の要望を受け始業前と放課後の使用を認めています。生徒会を中心に生徒に使用ルールやマナーの周知を繰り返し行なった結果、本年は昼休みの使用も許可されることとなりました。生徒自ら考え、提案し、責任を持って行動しようとするタカ高生の姿勢に期待しています。最後になりましたが、本号の作成に協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。